

大塚泰正著 博士学位申請論文
「イベント型職場ストレスを中心とした
職業性ストレスの臨床心理学的検討」
に関する審査報告

はじめに

表記博士学位申請論文は、心理学専攻教員会議によって専任された主審査委員小杉正太郎（早稲田大学文学部教授）、副審査委員豊田秀樹（早稲田大学文学部教授）、副審査委員原谷隆史（独立行政法人産業医学総合研究所主任研究員）の3名によって審査された。

本報告書は、3名の審査結果および博士学位請求論文公開審査会の審査結果を基に主審査委員が作成したものである。なお、審査は、予備審査、本審査、公開審査会の順に行われ、予備審査の段階で予備審査委員（本審査委員と同一者）と学位請求者の間で訂正・加筆に関するやり取りがなされた。

審査結果

全体的評価と結論

本論文は、企業従業員に見られる職場不適応状態を心理ストレスモデルによって捉え、適応援助を目的とした介入を実施する際に果たすイベント型職場ストレスの有用性を明らかにする目的で、作成されている。本論文によって明らかにされたイベント型ストレス、慢性型ストレス、心理的ストレス反応の因果関係は、これまでの先行研究には見られない新たな発見であり、しかも、この関係が単に統計学的な視点に止まらず臨床的視点からも証明されたことは、基礎的調査研究を実際の臨床につなげる上で、高く評価されよう。

本論文の著者は、修士課程入学以来、私の指導のもと一貫してイベント型職場ストレス研究に従事し、イベント型職場ストレス尺度の構成、慢性型職場ストレスとの比較検討、イベント型職場ストレスと心理的ストレス反応の関係、心理臨床的介入におけるイベント型職場ストレス尺度の役割、等の学会誌掲載論文、学会発表を国内、国外で明らかにしている。本論文はこれらの研究業績の集大成として位置づけられる。

以上から、本論文を学位申請論文として適当であると判断する。

本論文の構成とその概要

本論文は次の4部から構成される。

第1部の研究史では、本論文の依拠する立場と目的とが示されている。第1章では、イベント型職場ストレス、ライフイベント、慢性型職場ストレスの異同点およびそ

これらの相互関係を明らかにされ、イベント型職場ストレスを測定することの臨床心理学的意義について検討がなされている。第2章では、Meyer や Holmes らによるライフイベントないしイベント型ストレスに関する初期の研究をレビューされている。第3章では、著名な職業性ストレスモデルをレビューし、職業性ストレスモデルにおけるイベント型職場ストレスの位置付けについて議論されている。第4章では、第1章～第3章までの検討を踏まえ、ライフイベントないしイベント型ストレス研究の問題点を明らかにすることを通して、本論文の目的が明らかにされている。本論文の目的は、1)臨床心理学的職場カウンセリングに利用できる新たなイベント型職場ストレス尺度を作成すること、2)実際の面接事例をもとにイベント型職場ストレス・慢性型職場ストレスと心理的ストレス反応の3要因を用いて因果モデルを構成し、その妥当性の検証を行うこと、の2点である。

第2部では、臨床心理学的職場カウンセリングに利用できる新たなイベント型職場ストレス尺度の作成過程とその結果が明らかにされている。

第3部では、面接事例をもとにイベント型職場ストレス・慢性型職場ストレスと心理的ストレス反応の3要因を用いて因果モデルを構成し、その妥当性の検証を行うことが目的とされている。ここでは、2企業従業員に共通してストレスとなるイベントの体験が、慢性型職場ストレスの自覚に及ぼす影響について検討し、続いて、イベント型職場ストレスと慢性型職場ストレス、心理的ストレス反応間の因果モデルを構成して、その妥当性が検証されている。検討の結果、いずれのイベント型職場ストレスを用いて構成したモデルでも、十分な適合度が得られることが証明された。

第4部では、第1部～第3部の内容を踏まえた全体的考察を行い、イベント型職場ストレスを取り上げた本研究の臨床心理学的意義、職業性ストレスモデルにおけるイベント型職場ストレスの位置付け、イベント型職場ストレス、慢性型職場ストレスと心理的ストレス反応との関連などが明らかにされている。特に、イベント型職場ストレスの体験は、量的・質的な慢性型職場ストレスの一方または両方の自覚を強めること、さらに、イベント型職場ストレスの体験に伴い量的・質的な慢性型職場ストレスを強く自覚することによって、心理的ストレス反応の自覚も強くなる可能性があることが指摘されているが、これはこれまでの先行研究には見られない新たな発見と言える。

以上

2003年8月5日

主任審査員 教授 小杉正太郎 (早稲田大学)
審査員 教授 豊田 秀樹 (早稲田大学)
独立行政法人 産業医学総合研究所主任研究員
審査員 原谷 隆史